



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CSR・IR部長 (氏名) 田中 善則 TEL 03-5381-0728

定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (2023年5月23日に機関投資家向け決算説明会をオンラインにて開催予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	351,028	28.9	13,818	9.0	13,843	0.8	9,696	1.4
2022年3月期	272,292	17.6	12,681	57.8	13,734	64.1	9,558	56.7

(注) 包括利益 2023年3月期 11,506百万円 (18.8%) 2022年3月期 9,681百万円 (51.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	371.70		12.2	11.3	3.9
2022年3月期	366.40		13.7	12.5	4.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 418百万円 2022年3月期 547百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	129,208	84,648	65.4	3,238.61
2022年3月期	115,797	74,420	64.2	2,848.19

(参考) 自己資本 2023年3月期 84,481百万円 2022年3月期 74,297百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	10,646	12,194	1,382	11,761
2022年3月期	7,032	2,521	2,261	11,379

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		22.00		24.00	46.00	1,095	12.6	1.6
2023年3月期		25.00		25.00	50.00	1,278	13.5	1.6
2024年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00		24.1	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	158,000	10.2	4,000	49.7	4,100	49.6	2,800	50.3	107.33
通期	330,000	6.0	9,000	34.9	9,300	32.8	6,500	33.0	249.17

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	26,908,581 株	2022年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	2023年3月期	822,870 株	2022年3月期	2,822,619 株
期中平均株式数	2023年3月期	26,085,770 株	2022年3月期	26,086,263 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	343,554	29.4	11,309	17.5	11,300	9.4	8,041	11.1
2022年3月期	265,536	19.6	9,625	69.4	12,471	87.7	9,043	79.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	308.28	
2022年3月期	346.68	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	116,584	72,273	62.0	2,770.60
2022年3月期	103,856	64,927	62.5	2,488.97

(参考) 自己資本 2023年3月期 72,273百万円 2022年3月期 64,927百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 5
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 連結貸借対照表	P. 6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 8
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(セグメント情報等)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 14
(重要な後発事象)	P. 14
4. 個別財務諸表及び主な注記	P. 15
(1) 貸借対照表	P. 15
(2) 損益計算書	P. 17
(3) 株主資本等変動計算書	P. 18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

連結経営成績	単位：百万円 () 内：前期比較		
売上高	351,028	(78,735	28.9%)
営業利益	13,818	(1,137	9.0%)
経常利益	13,843	(108	0.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,696	(138	1.4%)

当連結会計年度における世界経済は、インフレの加速に伴い金融政策が引き締めに向かうなどの懸念要素がある中で、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され正常化に向かい、全体的には緩やかな持ち直しの傾向が見られました。我が国経済においても、原材料価格の上昇、生活必需品の高騰等もあり、一部に弱さは見られたものの、緩やかな持ち直しが見られました。しかしながら、世界的な金融引き締めが続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスク等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、貴金属リサイクルへの多様化するニーズに対し、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発等により差別化し、貴金属原料の確保、化成品等の製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、世界的な食資源の供給不安や仕入価格の上昇等にも調達力の強みを活かして柔軟に対処し、顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は351,028百万円（前連結会計年度比28.9%増）、営業利益は13,818百万円（前連結会計年度比9.0%増）となりました。持分法利益等の営業外損益を加えた経常利益は13,843百万円（前連結会計年度比0.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は9,696百万円（前連結会計年度比1.4%増）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

セグメント別（連結）の状況	単位：百万円 () 内：前期比較			
セグメント	売上高		営業利益	
貴金属関連事業	246,578	(53,640	27.8%)	12,043 (1,693 16.4%)
食品関連事業	104,530	(25,099	31.6%)	1,774 (△556 △23.9%)
セグメント間の消去	△81		—	
合計	351,028	(78,735	28.9%)	13,818 (1,137 9.0%)

(貴金属関連事業)

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界の半導体・電子デバイス分野は、個人向けの電子機器需要は低迷したものの、自動車や産業機器用途の需要に支えられ、第2四半期までの生産活動は堅調に推移しましたが、第3四半期以降は、需要の減少に伴い生産活動の低下が続いております。

このような状況の中で、当事業においては、白金族の一部で貴金属相場下落の影響を受けたものの、貴金属リサイクルの取扱量及び産業廃棄物の処理受託は増加し、金製品、銀製品及び白金族製品等の販売量も増加した結果、売上高及び営業利益は前連結会計年度に比べ増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は246,578百万円（前連結会計年度比27.8%増）、営業利益は12,043百万円（前連結会計年度比16.4%増）となりました。

(食品関連事業)

当事業の主力顧客である食品製造業界は、新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要は落ち着きを見せる一方、経済再開の動きにより業務用食品の需要は増加傾向となりましたが、原材料価格高騰の影響により、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当事業においては、水産品、畜産品、農産品の販売量は増加し、販売価格も総じて上昇したことから、売上高は前連結会計年度に比べ増加しましたが、運送費及び保管料の増加や仕入価格上昇の影響により

営業利益は前連結会計年度に比べ減少しました。

これらの結果、当事業の売上高は104,530百万円（前連結会計年度比31.6%増）、営業利益は1,774百万円（前連結会計年度比23.9%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、棚卸資産が3,812百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,254百万円増加しました。固定資産は、土地・建物等の増加により有形固定資産が8,427百万円増加したことに加え、投資その他の資産が1,159百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ10,156百万円増加しました。これらの結果、当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,410百万円増加し、129,208百万円となりました。

（負債）

流動負債は、短期借入金が7,378百万円減少し、1年内返済予定の長期借入金が1,514百万円増加したこと等の差引により、前連結会計年度末に比べ5,699百万円減少しました。固定負債は、長期借入金が8,784百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ8,882百万円増加しました。これらの結果、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,182百万円増加し、44,560百万円となりました。

（純資産）

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益9,696百万円と、配当金の支払い1,278百万円、自己株式の消却2,418百万円等の差引により、利益剰余金は5,999百万円増加しました。これらの結果、前連結会計年度末に比べ10,228百万円増加し、84,648百万円となりました。なお、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月22日付で自己株式の消却を行った結果、利益剰余金と自己株式がそれぞれ2,418百万円減少しております。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は11,761百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動により増加した資金は10,646百万円となりました。これは主として税金等調整前当期純利益、減価償却費等による資金の増加と、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前連結会計年度の7,032百万円の資金の増加に比べ3,613百万円資金が増加しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動に使用した資金は12,194百万円となりました。これは主として土地・建物等の有形固定資産及びソフトウェア等の無形固定資産取得の支出によるものです。なお、前連結会計年度の2,521百万円の支出に比べ9,673百万円支出が増加しました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動により増加した資金は1,382百万円となりました。これは主として借入金の増加による資金の増加と、配当金の支払による資金の減少との差引によるものです。なお、前連結会計年度の2,261百万円の資金の減少に比べ3,644百万円資金が増加しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率	72.8	63.9	62.8	64.2	65.4
時価ベースの自己資本比率	45.3	35.3	50.9	55.8	45.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.2	—	93.2	2.3	1.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	111.2	—	2.6	106.4	55.6

(注) 自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

※キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※2020年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

連結業績見通し

単位：百万円 () 内：当期比較

売上高	330,000	(△21,028	△6.0%)
営業利益	9,000	(△4,818	△34.9%)
経常利益	9,300	(△4,543	△32.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,500	(△3,196	△33.0%)

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は各種政策の効果もあり経済活動の回復が期待される一方、ウクライナ情勢や世界的な金融引き締めが続く中で、資源価格の高騰、インフレ圧力による経済への影響懸念等もあることから、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況の中で、貴金属関連事業においては、需要の減少に伴う半導体・電子デバイス分野の生産低下により同分野からの貴金属リサイクルの取扱量は減少するものと予想されますが、資源リサイクルの総合力を強みに循環型社会のニーズに適応し続け、宝飾業界等、他分野への展開を拡大し、貴金属リサイクルの取扱量、製商品販売数量の増加及び産業廃棄物処理受託の確保拡大を図ります。また、食品関連事業においては、食資源の供給懸念や物流コスト上昇等にも対処しながら、海外拠点の活用を含めてさらに調達力を強化し、顧客ニーズを的確に捉えた営業活動を行い、安全・安心・安定供給を根本に据えた商品の開拓と提供等による差別化で販売数量を拡大し、収益の確保を図ります。

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

会社の利益分配につきましては、成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主への安定的な利益還元を持続的に行うことによって、株主の期待に応えることを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては1株につき普通配当25円を予定しております。年間での配当金は中間配当金とあわせ50円となります。

なお、次期の配当につきましては1株につき60円(中間配当金30円、期末配当金30円)に増配する予定であります。今後も基本方針のもとで利益水準も勘案し総合的な株主利益の還元を努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、国内外の諸情勢や適用動向等を踏まえた上で、国際財務報告基準(IFRS)の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,379	11,761
受取手形及び売掛金	26,104	25,615
商品及び製品	27,202	28,925
仕掛品	614	606
原材料及び貯蔵品	13,962	16,058
未収入金	1,938	2,055
その他	4,918	4,336
貸倒引当金	△45	△32
流動資産合計	86,073	89,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,633	13,954
減価償却累計額	△6,061	△6,609
建物及び構築物（純額）	6,572	7,345
機械装置及び運搬具	12,659	13,510
減価償却累計額	△9,294	△10,394
機械装置及び運搬具（純額）	3,365	3,116
土地	8,768	16,625
リース資産	1,723	1,815
減価償却累計額	△899	△1,054
リース資産（純額）	824	761
建設仮勘定	994	1,129
その他	1,537	1,619
減価償却累計額	△1,285	△1,392
その他（純額）	252	227
有形固定資産合計	20,777	29,205
無形固定資産		
その他	772	1,341
無形固定資産合計	772	1,341
投資その他の資産		
投資有価証券	5,484	5,825
繰延税金資産	819	695
その他	1,895	2,858
減価償却累計額	—	△6
その他（純額）	1,895	2,851
貸倒引当金	△25	△38
投資その他の資産合計	8,174	9,334
固定資産合計	29,724	39,880
資産合計	115,797	129,208

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,231	10,874
短期借入金	9,724	2,346
1年内返済予定の長期借入金	1,588	3,102
リース債務	302	246
未払法人税等	3,128	2,584
賞与引当金	1,012	1,030
未払金	1,312	818
その他	5,292	6,890
流動負債合計	33,592	27,893
固定負債		
長期借入金	4,239	13,023
リース債務	535	520
繰延税金負債	12	12
役員退職慰労引当金	742	788
執行役員退職慰労引当金	25	22
退職給付に係る負債	2,111	2,183
その他	117	116
固定負債合計	7,784	16,667
負債合計	41,377	44,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	69,940	75,939
自己株式	△3,413	△995
株主資本合計	74,095	82,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	580	577
繰延ヘッジ損益	△766	△91
為替換算調整勘定	1,311	2,235
退職給付に係る調整累計額	△923	△751
その他の包括利益累計額合計	202	1,969
非支配株主持分	122	166
純資産合計	74,420	84,648
負債純資産合計	115,797	129,208

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	272,292	351,028
売上原価	242,339	317,728
売上総利益	29,953	33,299
販売費及び一般管理費	17,272	19,481
営業利益	12,681	13,818
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	33	34
持分法による投資利益	547	418
仕入割引	14	14
受取保険金	12	20
為替差益	100	—
補助金収入	367	29
その他	58	168
営業外収益合計	1,143	694
営業外費用		
支払利息	56	185
固定資産除却損	15	3
為替差損	—	401
その他	18	78
営業外費用合計	90	669
経常利益	13,734	13,843
特別利益		
関係会社清算益	—	91
固定資産売却益	—	40
特別利益合計	—	132
税金等調整前当期純利益	13,734	13,975
法人税、住民税及び事業税	4,367	4,483
法人税等調整額	△203	△235
法人税等合計	4,163	4,247
当期純利益	9,570	9,727
非支配株主に帰属する当期純利益	12	31
親会社株主に帰属する当期純利益	9,558	9,696

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	9,570	9,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△3
繰延ヘッジ損益	△697	673
為替換算調整勘定	540	844
退職給付に係る調整額	196	173
持分法適用会社に対する持分相当額	108	91
その他の包括利益合計	110	1,779
包括利益	9,681	11,506
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,671	11,462
非支配株主に係る包括利益	10	44

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,559	4,008	61,248	△3,411	65,404
会計方針の変更による累積的影響額			229		229
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,559	4,008	61,477	△3,411	65,634
当期変動額					
剰余金の配当			△1,095		△1,095
親会社株主に帰属する当期純利益			9,558		9,558
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	8,462	△1	8,460
当期末残高	3,559	4,008	69,940	△3,413	74,095

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	617	△70	671	△1,127	89	111	65,605
会計方針の変更による累積的影響額							229
会計方針の変更を反映した当期首残高	617	△70	671	△1,127	89	111	65,835
当期変動額							
剰余金の配当							△1,095
親会社株主に帰属する当期純利益							9,558
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△36	△695	640	204	113	10	123
当期変動額合計	△36	△695	640	204	113	10	8,584
当期末残高	580	△766	1,311	△923	202	122	74,420

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,559	4,008	69,940	△3,413	74,095
当期変動額					
剰余金の配当			△1,278		△1,278
親会社株主に帰属する当期純利益			9,696		9,696
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の消却			△2,418	2,418	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	5,999	2,417	8,417
当期末残高	3,559	4,008	75,939	△995	82,512

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	580	△766	1,311	△923	202	122	74,420
当期変動額							
剰余金の配当							△1,278
親会社株主に帰属する当期純利益							9,696
自己株式の取得							△0
自己株式の消却							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	674	923	171	1,766	44	1,810
当期変動額合計	△3	674	923	171	1,766	44	10,228
当期末残高	577	△91	2,235	△751	1,969	166	84,648

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	13,734	13,975
減価償却費	2,231	2,315
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△88	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36	17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	252	302
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	41	45
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	△3
受取利息及び受取配当金	△42	△42
支払利息	56	185
持分法による投資損益 (△は益)	△547	△418
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,026	858
未収入金の増減額 (△は増加)	△485	△12
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,051	△3,445
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,126	△607
未払金の増減額 (△は減少)	△403	△372
その他	158	2,835
小計	10,000	15,633
利息及び配当金の受取額	131	206
利息の支払額	△66	△191
法人税等の支払額	△3,033	△5,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,032	10,646
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,189	△11,138
有形固定資産の売却による収入	8	116
無形固定資産の取得による支出	△305	△634
投資有価証券の取得による支出	△23	△16
投資有価証券の売却による収入	8	57
その他	△20	△578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,521	△12,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	646	△7,348
長期借入れによる収入	—	13,500
長期借入金の返済による支出	△1,488	△3,202
配当金の支払額	△1,095	△1,278
自己株式の取得による支出	△1	△0
その他	△322	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,261	1,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	325	548
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,575	382
現金及び現金同等物の期首残高	8,803	11,379
現金及び現金同等物の期末残高	11,379	11,761

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・商品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部を基礎とした製品・商品・サービス別セグメントから構成されており、「貴金属関連事業」及び「食品関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「貴金属関連事業」は、貴金属の回収製錬及び貴金属地金、化成品、電子材料等の販売と、産業廃棄物の収集・運搬・処理を行っております。「食品関連事業」は水産品、農産品、畜産品等の食品加工原材料の販売及びその運搬を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	192,938	79,354	272,292	—	272,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	76	76	△76	—
計	192,938	79,431	272,369	△76	272,292
セグメント利益	10,350	2,330	12,681	—	12,681

(注) 1 調整額の内容は、売上高についてはセグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	246,578	104,449	351,028	—	351,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	81	81	△81	—
計	246,578	104,530	351,109	△81	351,028
セグメント利益	12,043	1,774	13,818	—	13,818

(注) 1 調整額の内容は、売上高についてはセグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,848円 19銭	3,238円 61銭
1株当たり当期純利益金額	366円 40銭	371円 70銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	74,420	84,648
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	122	166
(うち非支配株主持分(百万円))	122	166
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	74,297	84,481
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	26,085	26,085

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,558	9,696
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	9,558	9,696
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,086	26,085

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,415	4,733
受取手形	330	279
売掛金	23,890	23,269
商品及び製品	23,803	25,062
仕掛品	553	536
原材料及び貯蔵品	11,913	14,244
前渡金	2,560	2,945
前払費用	186	247
未収入金	1,973	2,089
関係会社短期貸付金	2,000	2,506
その他	2,004	707
貸倒引当金	△55	△35
流動資産合計	73,576	76,587
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,401	5,995
構築物	350	416
機械及び装置	2,906	2,569
車両運搬具	8	6
工具、器具及び備品	201	157
土地	8,021	15,806
リース資産	448	375
建設仮勘定	948	604
有形固定資産合計	18,287	25,931
無形固定資産		
借地権	10	10
ソフトウェア	532	1,145
その他	23	23
無形固定資産合計	566	1,179
投資その他の資産		
投資有価証券	1,479	1,476
関係会社株式	3,730	3,765
関係会社出資金	1,080	959
関係会社長期貸付金	2,635	3,175
繰延税金資産	974	1,054
その他	1,551	2,492
貸倒引当金	△25	△38
投資その他の資産合計	11,426	12,885
固定資産合計	30,280	39,996
資産合計	103,856	116,584

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,346	9,877
短期借入金	9,464	2,346
1年内返済予定の長期借入金	1,588	3,102
リース債務	183	152
未払金	1,098	702
未払費用	1,277	1,460
未払法人税等	2,518	2,316
前受金	2,869	5,533
預り金	73	52
関係会社預り金	1,510	2,500
賞与引当金	992	1,011
その他	988	171
流動負債合計	32,909	29,227
固定負債		
長期借入金	4,239	13,023
リース債務	264	223
退職給付引当金	723	1,002
役員退職慰労引当金	742	788
執行役員退職慰労引当金	25	22
その他	23	23
固定負債合計	6,019	15,083
負債合計	38,929	44,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金		
資本準備金	4,008	4,008
資本剰余金合計	4,008	4,008
利益剰余金		
利益準備金	177	177
その他利益剰余金		
配当平均積立金	140	140
退職積立金	450	450
別途積立金	6,500	6,500
繰越利益剰余金	53,466	57,811
利益剰余金合計	60,734	65,079
自己株式	△3,413	△995
株主資本合計	64,889	71,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	572	569
繰延ヘッジ損益	△534	50
評価・換算差額等合計	38	620
純資産合計	64,927	72,273
負債純資産合計	103,856	116,584

(2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	265,536	343,554
売上原価	240,850	315,201
売上総利益	24,686	28,352
販売費及び一般管理費	15,060	17,042
営業利益	9,625	11,309
営業外収益		
受取利息	43	85
受取配当金	2,357	290
仕入割引	14	14
為替差益	123	—
補助金収入	367	29
その他	46	166
営業外収益合計	2,952	587
営業外費用		
支払利息	82	217
為替差損	—	307
その他	24	71
営業外費用合計	106	596
経常利益	12,471	11,300
特別利益		
関係会社清算益	—	202
固定資産売却益	—	40
特別利益合計	—	242
税引前当期純利益	12,471	11,543
法人税、住民税及び事業税	3,527	3,838
法人税等調整額	△100	△336
法人税等合計	3,427	3,501
当期純利益	9,043	8,041

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	3,559	4,008	4,008
会計方針の変更による累積的影響額			
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,559	4,008	4,008
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	3,559	4,008	4,008

	株主資本							
	利益剰余金						自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計		
		配当平均積立金	退職積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	177	140	450	6,500	45,288	52,556	△3,411	56,713
会計方針の変更による累積的影響額					229	229		229
会計方針の変更を反映した当期首残高	177	140	450	6,500	45,518	52,786	△3,411	56,942
当期変動額								
剰余金の配当					△1,095	△1,095		△1,095
当期純利益					9,043	9,043		9,043
自己株式の取得							△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	7,948	7,948	△1	7,946
当期末残高	177	140	450	6,500	53,466	60,734	△3,413	64,889

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	607	△132	475	57,188
会計方針の変更による累積的影響額				229
会計方針の変更を反映した当期首残高	607	△132	475	57,418
当期変動額				
剰余金の配当				△1,095
当期純利益				9,043
自己株式の取得				△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△35	△401	△437	△437
当期変動額合計	△35	△401	△437	7,508
当期末残高	572	△534	38	64,927

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	3,559	4,008	4,008
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
自己株式の取得			
自己株式の消却			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	3,559	4,008	4,008

	株主資本							
	利益剰余金						自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計		
		配当平均積立金	退職積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	177	140	450	6,500	53,466	60,734	△3,413	64,889
当期変動額								
剰余金の配当					△1,278	△1,278		△1,278
当期純利益					8,041	8,041		8,041
自己株式の取得							△0	△0
自己株式の消却					△2,418	△2,418	2,418	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	4,345	4,345	2,417	6,763
当期末残高	177	140	450	6,500	57,811	65,079	△995	71,652

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	572	△534	38	64,927
当期変動額				
剰余金の配当				△1,278
当期純利益				8,041
自己株式の取得				△0
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2	585	582	582
当期変動額合計	△2	585	582	7,346
当期末残高	569	50	620	72,273